

令和6年度 学生生活実態調査アンケート

集計結果（講評入り）

令和7年1月8日

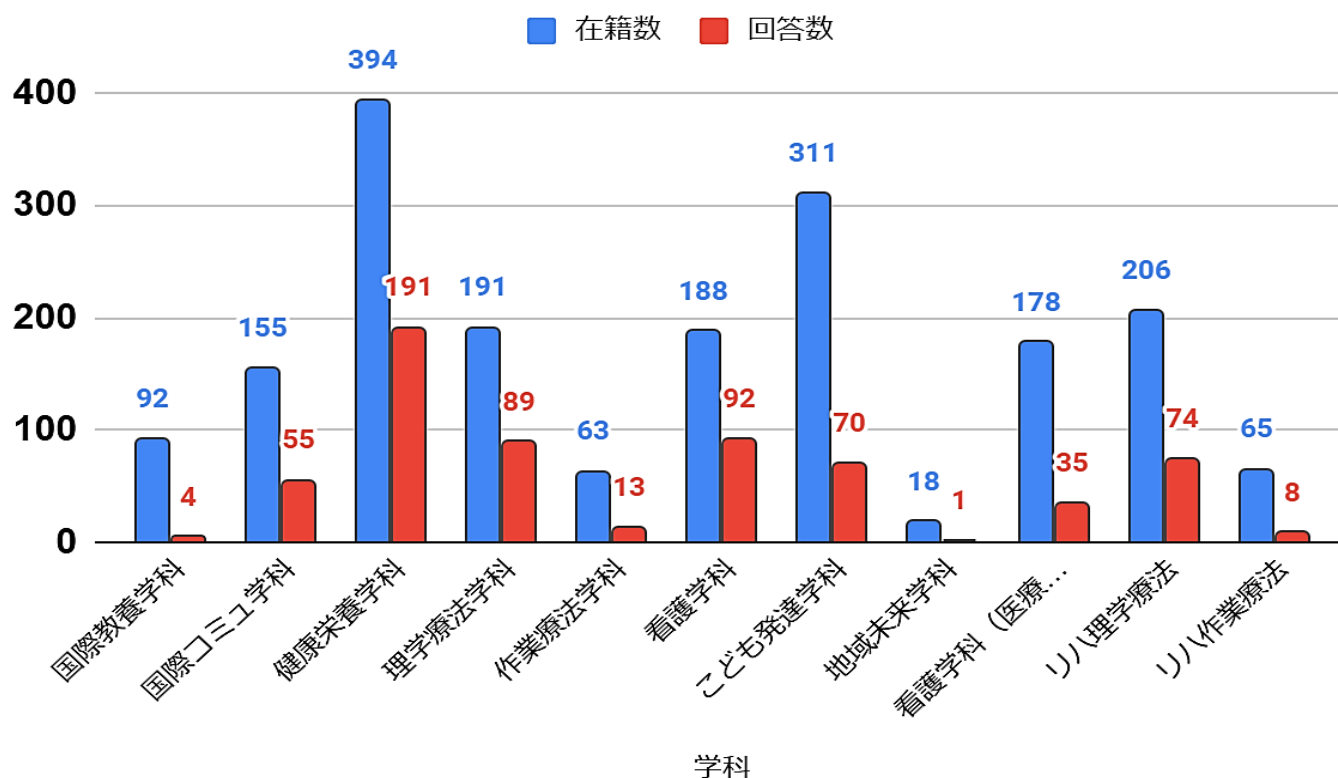
北海道文教大学 学生課

アンケート概要（入室状況及び回答状況）	2
[1] 基本情報	3
[2] 志望動機について(1)	4
[3] 学生生活について	6
[4] 学習時間及び成績について	9
[5] 悩み事について	11
[6] 大学・学友会行事の参加について	13
[7] サークル活動について	18
[8] 居住状況について	21
[9] アルバイトについて	23
[10] 昼食について	25
[11] 新型コロナウイルスの影響について	27

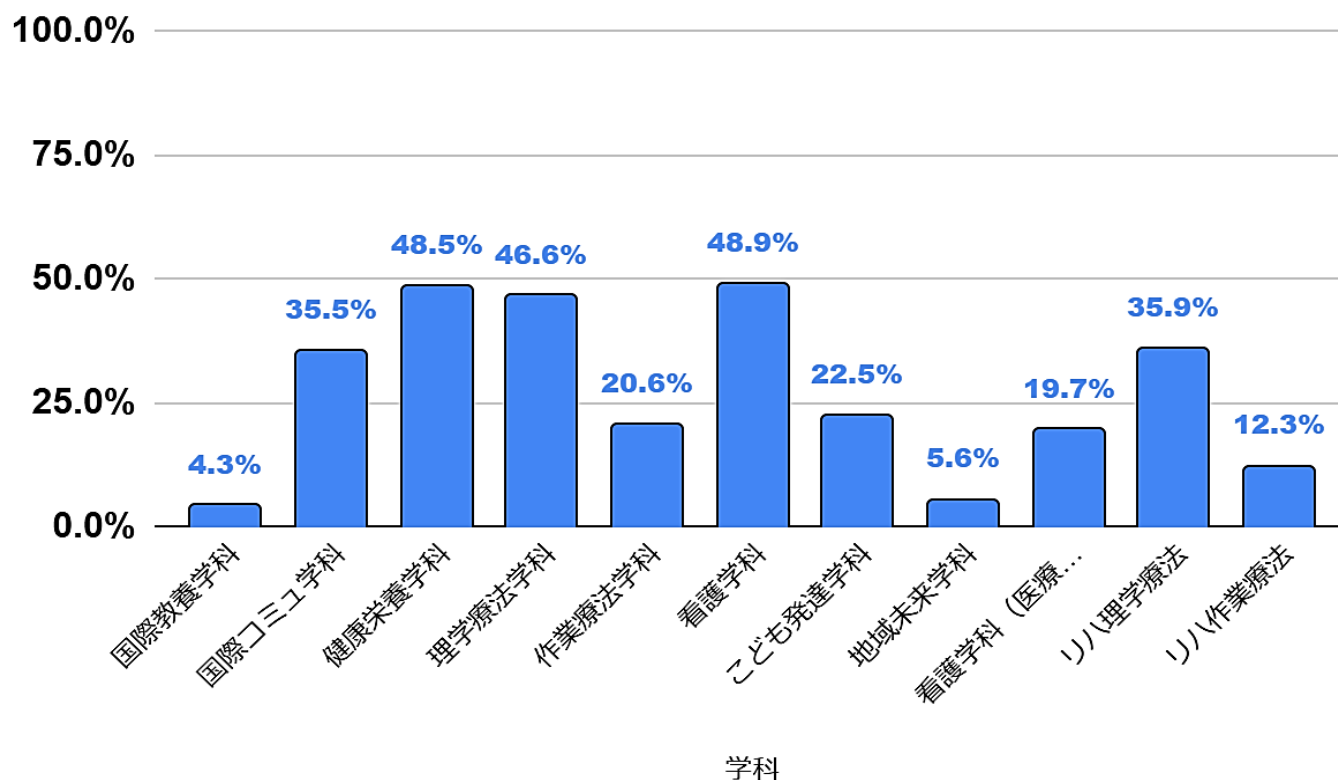
アンケート概要（在籍数と回答数及び回答率）

632件の回答

在籍数 と 回答数



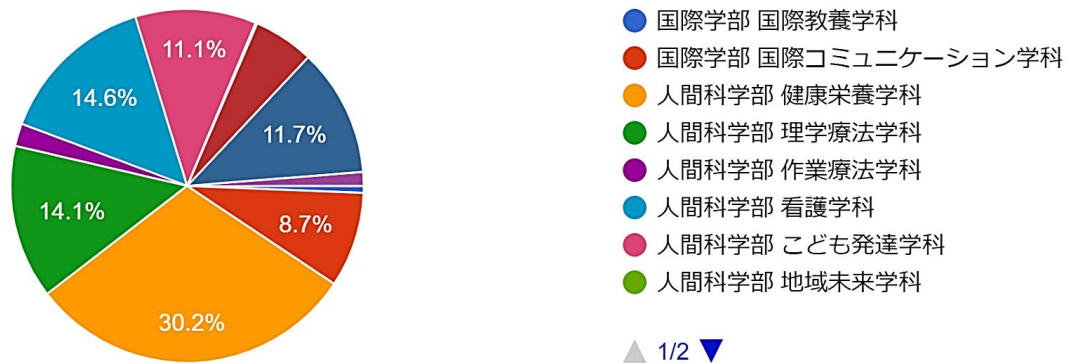
各学科の回答率



[1] 基本情報

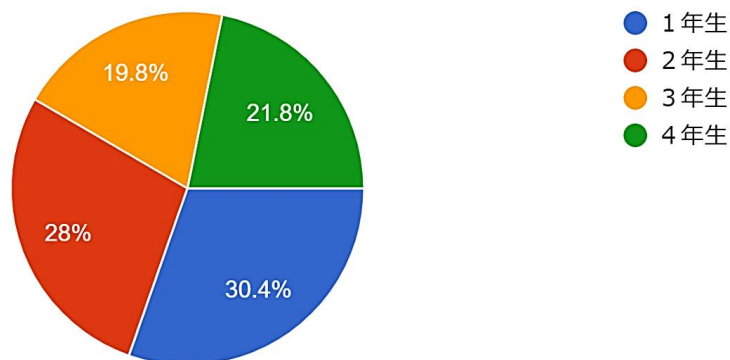
[Q1-1] あなたの所属学科は？

632 件の回答



[Q1-2] あなたの学年は？

632 件の回答



< 学生委員のコメント >

学生生活実態調査アンケートは、「学生の生活実態を把握し、学生生活面での改良及び修学指導上の参考にする」との目的で、2002年度から調査内容を若干変更しながらほぼ毎年実施してきた。

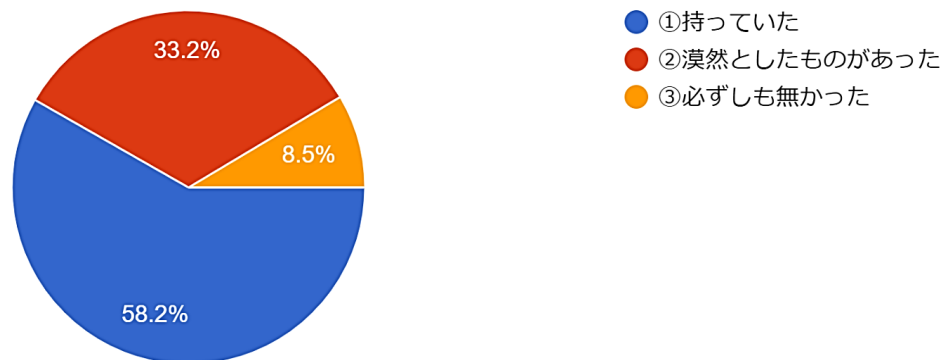
調査票は学生委員会が作成し調査を行った。

2024年度学生生活実態調査アンケートは、2024年10月上旬の後期オリエンテーションの際にGoogleフォームを使って周知又は実施された。対象1,861名中632名が回答し、回答率は34%(昨年65.6%)であり、昨年より31.6%ポイント低くなった。2024年度も学生への連絡等を徹底するため、学生課のGoogleClassroomを設定し全学生へ入室を促した。その結果、ほとんどの学生が入室しているが、全学科が50%以下という回答率となった。

[2] 志望動機について(1)

[Q2-1] 大学に入学するにあたって、志望動機として明確なものを持っていたか？

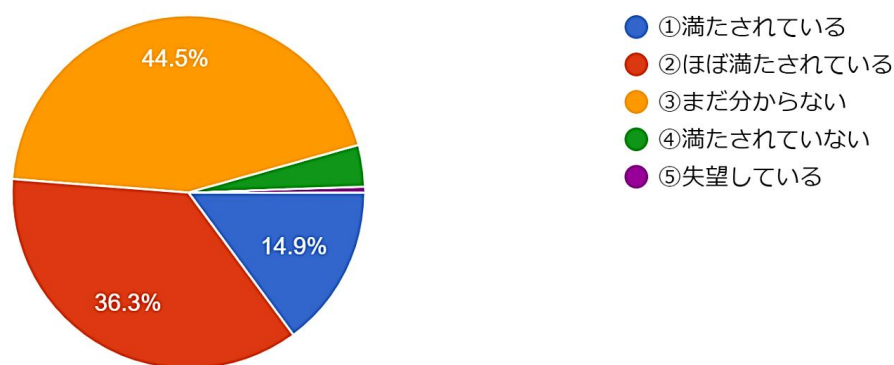
632 件の回答



Q2-1で、志望動機について明確なものを「①持っていた」又は「②漠然としたものがあった」と回答した方への質問です。

[Q2-2] その動機は満たされたものになっていますか？

578 件の回答



<学生委員のコメント>

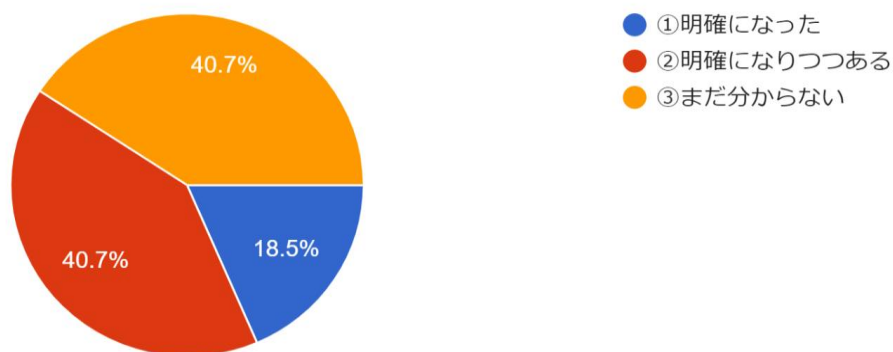
2-1で「①持っていた」58.2%(前年比+5.2ポイント)又は「②漠然としたものがあった」33.2%(-1.9ポイント)、トータル91.4%(+3.3ポイント)と若干の増加が見られた。2021年後半から少しずつコロナも落ち着き、2023年5月から5類に変更となり、授業体制もほぼコロナ以前に戻ったことが、特に現1～3年生は特に入学時に志望動機を明確にしやすいになったのではないと思われる。

また、「①持っていた」「②漠然としたものがあった」と答えた学生は、その動機は満たされたものになっているかの質問に対し、全体では「①満たされている」14.9%(前年比+1.4ポイント)、「②ほぼ満たされている」36.3%(+2.4ポイント)、「③まだ分からない」44.5%(-0.8ポイント)、「④満たされていない」と「⑤失望している」を合わせて4.3%(-3ポイント)であった。「①満たされている」「②ほぼ満たされている」が若干の増加、「③まだ分からない」「④満たされていない」と「⑤失望している」が若干の減少となっている。これらもコロナの5類移行の影響があると思われる。

Q2-1で、志望動機について明確なものが「③必ずしも無かった」と回答した方への質問です。

[Q2-3] その後、大学で何を学ぶか、大学生活の目的が明確になりましたか？

54 件の回答



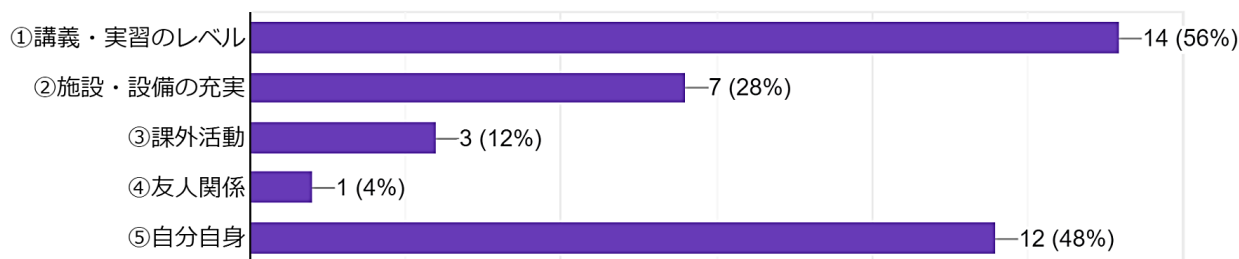
〈学生委員のコメント〉

2-1)で「③必ずしも無かった」と答えた学生は、その後、大学で何を学ぶか、大学生活の目的が明確になったかの質問に対し、「①明確になった」18.5%(前年比-3.6ポイント)、「②明確になりつつある」40.7%(+7.8ポイント)、「③まだ分らない」40.7%(-4.3ポイント)であり、「明確になった・なりつつある」という学生の割合が増加し、「まだ分らない」が減少したのも、コロナの5類移行(2～4年生は入学後、1年生は入学前)の影響があると思われる。

Q2-2で、志望動機について明確なものはあったが「④満たされていない」又は「⑤失望している」と回答した方への質問です。

[Q2-4] 何に問題があると思いますか(複数回答可)

25 件の回答



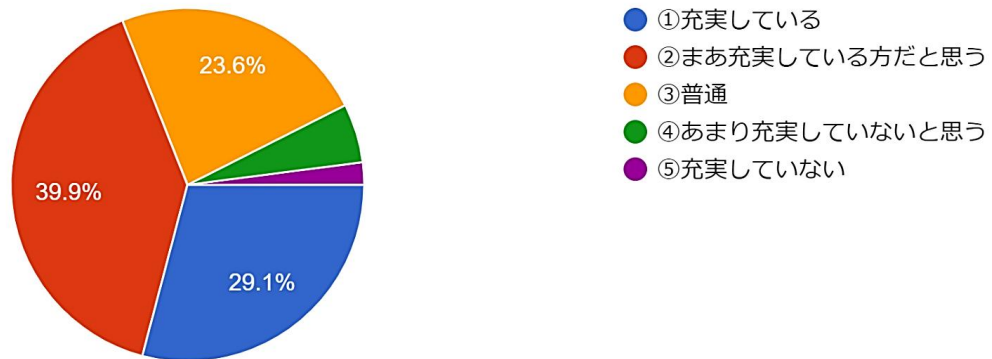
<回答数 = 1 の回答>

- 後期から学びたい科目があるからそれが受けられれば満たされる
- 講義がまだ開始されていないため

[3] 学生生活について

[Q3-1] 学生生活は充実していますか？

632 件の回答

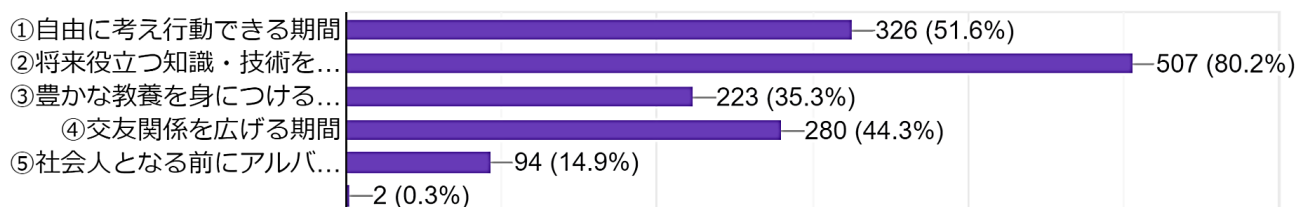


〈学生委員のコメント〉

学生生活については、「①充実している・②まあ充実している」69.0%であり、昨年度（65.3%）より増加している。「③普通」と回答した学生は、23.6%（昨年28.5%）であり、昨年度より減少している。「④あまり充実していない・⑤充実していない」と回答した学生は、7.4%（昨年度6.2%）と微増していた。COVID-19の制限が本格的に緩和されたことに伴い、様々な活動が再開され充実していると感じる学生が増えたと推察する。その一方で「充実していない」と感じる学生が増えている点については、要因を含めて具体的調査と分析が必要である。

[Q3-2] 大学時代は、人生のどのような期間と捉えていますか？（複数回答可）

632 件の回答



※質問補足 ②将来役立つ知識・技術を身につける期間

③豊かな教養を身につける期間

⑤社会人となる前にアルバイトで稼げる期間

<回答数 = 1 の回答>

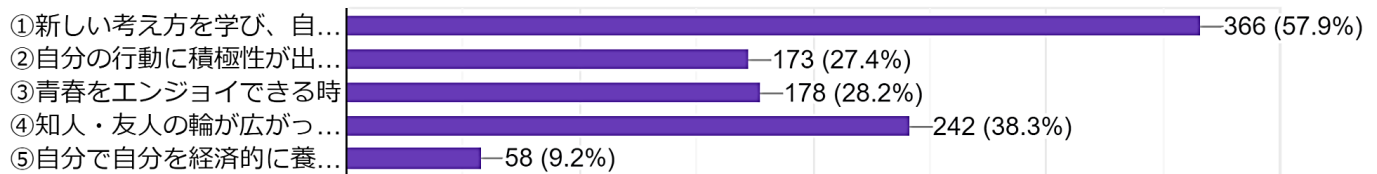
- 国家試験のための勉強期間
- 社会に出るまでの準備期間
- 自分の将来を明確にする期間
- 責任が以前（高校時代）よりも重くなっていく期間
- 色々な経験を積む所
- 人生の夏休み
- 成長期
- 免許取得期間
- 自分の好きなことを見つけられる期間

〈学生委員のコメント〉

最も多かったのは「②将来役立つ知識・技術を身につける期間」で80.2%（昨年度78.5%）と微増し、2番目に多い「①自由に考え行動できる期間」は51.6%（昨年度も2番目：52.4%）と微減している。3番目に多い「④交友関係を広げる期間」は44.3%（昨年度3番目：45.7%）と微減しており、「③豊かな教養を身につける期間」は4番目35.3%であり、（昨年度4番目：32.7%）微増していた。「⑤社会人となる前にアルバイトで稼げる期間」は5番目であり14.9%（昨年度17.6%）と減少していた。全体の傾向は昨年度と同様であり、大学時代の捉えには大きな変化は認められなかった。しかし「②将来役立つ知識・技術を身につける期間」と「③豊かな教養を身につける期間」が微増し、「⑤社会人となる前にアルバイトで稼げる期間」が減少しており、学修への取り組みに重きを置く傾向が推察される。

[Q3-3] 学生生活の喜びはどのようなことですか？(一つまたは二つ選択)

632 件の回答



※質問補足 ①新しい考え方を学び、自分が知的に成長していると感じる時

②自分の行動に積極性が出てきたと感じる時

④知人・友人の輪が広がったと感じる時

⑤自分で自分を経済的に養い、自立していると感じる時

<回答数 = 1 の回答>

- 思いつかない
- 生きていると思っている時
- 特にないです
- 野球で活躍できた時
- 学校以外の活動にも力を注ぐことができる点
- 休みの日
- 特になし

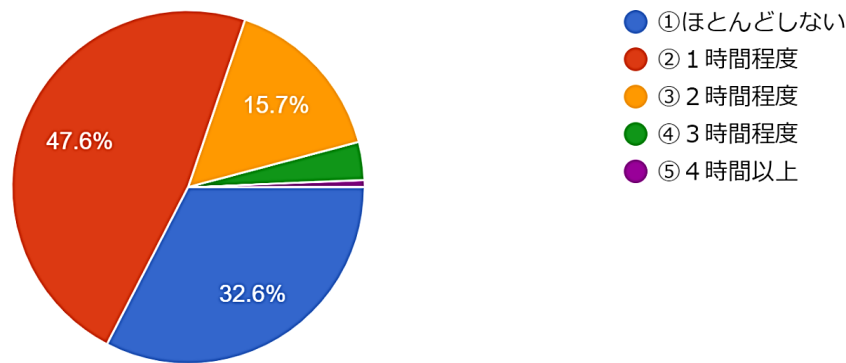
<学生委員のコメント>

昨年度と同様に回答の多い順番 1～4 の変化はなかった。1 番多く回答していた「① 新しい考え方を学び、自分が知的に成長していると感じる時」は57.9%（昨年度49.3%—昨年度57.0%）と増加した。2番目に多かった回答は、「④ 知人・友人の輪が広がったと感じた」38.3%（昨年度45.4%）と減少していた。3番目に多かった回答は、「③ 青春をエンジョイできる時」28.2%（昨年度28.3%）でほぼ同じであった。4番目は「② 自分の行動に積極性が出てきたと感じる時」27.4%（昨年度24.3%）で増加していた。5 番目は「⑤ 自分で自分を経済的に養い、自立していると感じる時」9.2%であり、昨年度（10.3%）より微減していた。学生は自身の知的な成長を感じることや積極的に活動できることを、喜びとしていた。一方で「④ 知人・友人の輪が広がったと感じる時」が減少しており、友人関係の構築や人間関係に苦慮する様子もうかがえる。

[4] 学習時間及び成績について

[Q4-1] 予習・復習に費やす1日の平均時間はどの程度ですか？

632 件の回答

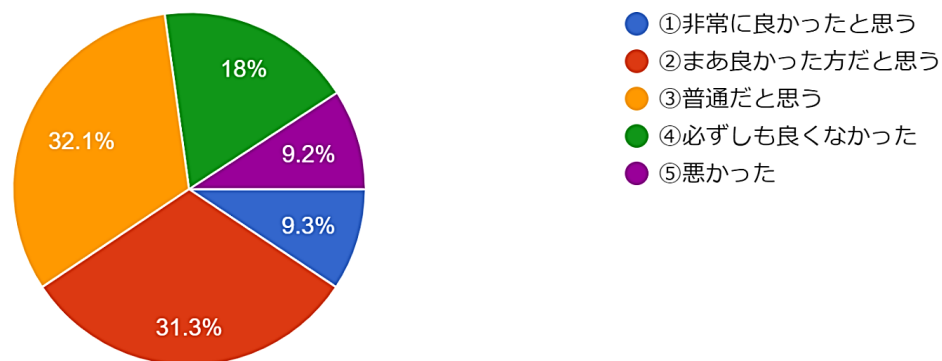


<学生委員のコメント>

このトピックの数値は、ほとんどの項目でわずかな改善が続けているが、1～2%ほどではない。「ほとんど勉強しない」学生は34%から32.6%に減少し、「1時間勉強する」学生は1.5%、「2時間勉強する」学生は2%増加した。1日3時間、4時間勉強する生徒の数は示されていないが、「3時間」のパイスライスは同じ大きさで、おそらく4%程度（学生課注：2024年度は3.5%）、「4時間以上勉強するグループ」は昨年2.3%で、今年はその半分程度のような。（学生課注：2024年度は0.6%）

[Q4-2] 最近の学業成績について良かったと思いますか？

632 件の回答



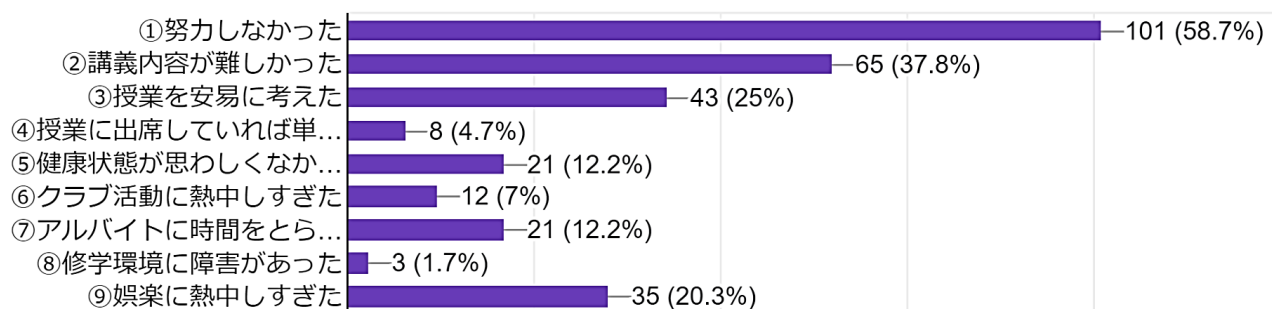
<学生委員のコメント>

このカテゴリーでは、ここ数年よりも変化が見られる。ほとんどのカテゴリーで、生徒が自分の成績に不満を示すようになっている。自分の成績が非常に良いと思う学生数はほとんど変わらないが、自分の成績が「まあ良い」と思う学生は2%減少し、自分の成績が平均だと思う学生は5%近く減少した。「成績が悪い」と思う人は3.7%増加し、「悪い」と思う人は3.2%増加した。この3つのカテゴリーから、12%の生徒が自分の成績に満足していないことがわかる。しかし、これらの数字からは、生徒が向上しようという意欲を持つかどうか、また、成績が不満足であることを自分自身や学校のせいに行っているかどうかまではわからない。

Q4-2で、最近の学業成績について「④必ずしも良くなかった」又は「⑤悪かった」と回答した方への質問です。

[Q4-3] その原因を何だと思えますか？（複数回答可）

172 件の回答



※質問補足 ④授業に出席していれば単位がもらえると思っていた

⑤健康状態が思わしくなかった

⑦アルバイトに時間をとられた

<回答数 = 1 の回答>

- 努力が足りなかった
- 周りに頼られ自分の勉強ができなかった
- 評価基準
- 精神的な要因
- 家庭の事情とトラブルがあった
- 友人関係でトラブルがあった
- わからない
- レポート等のまとめ方が良くなかったからなのかと思いました。またテストもギリギリ受かっていただけだったと思うので成績が悪かったです
- 努力不足
- 講義を受けたうえでさらに勉強するという意欲が湧かなかった。講義の内容に興味をもてなかった

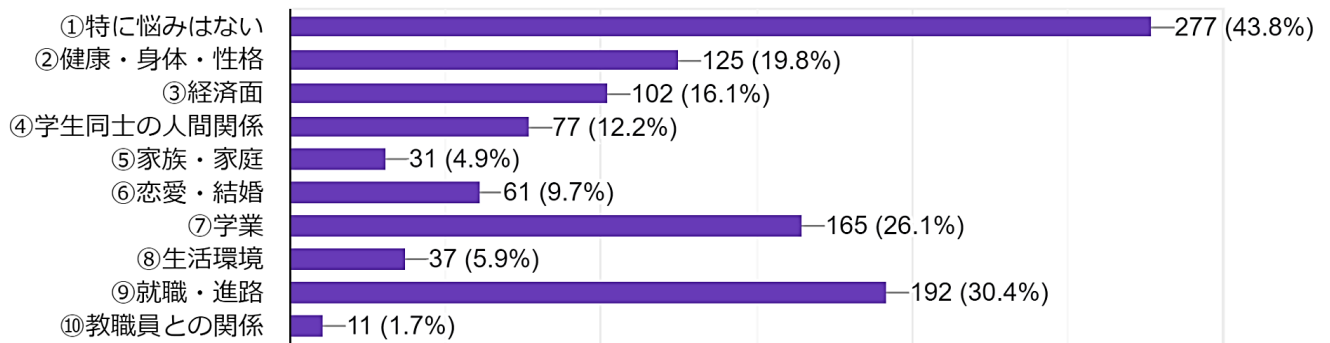
<学生委員のコメント>

成績不振の理由については、「努力が足りなかった」、「講義内容が難しすぎた」、「講義が簡単すぎた」の上位3項目は前年度からの変化が1%未満であり、「授業をサボりすぎた」、「部活に時間をかけすぎた」と感じている学生の割合が1%強増加していることから、これらの項目は大きな変化はなく、安定していると考えてよいだろう。実際、大きく変化した2つを除けば、どの数値も昨年とほぼ同じである。成績不振の原因を「体調不良」と「アルバイト」に求める学生はそれぞれ8%減少し、20.1%ちょうどから12.2%ちょうどになった。2021年には31%の学生が「アルバイトが成績に悪影響」と答えていたので、これは大きな違いである。

[5] 悩み事について

[Q5-1] 現在、悩み事がありますか？（複数回答可）

632 件の回答



<回答数 = 1 の回答>

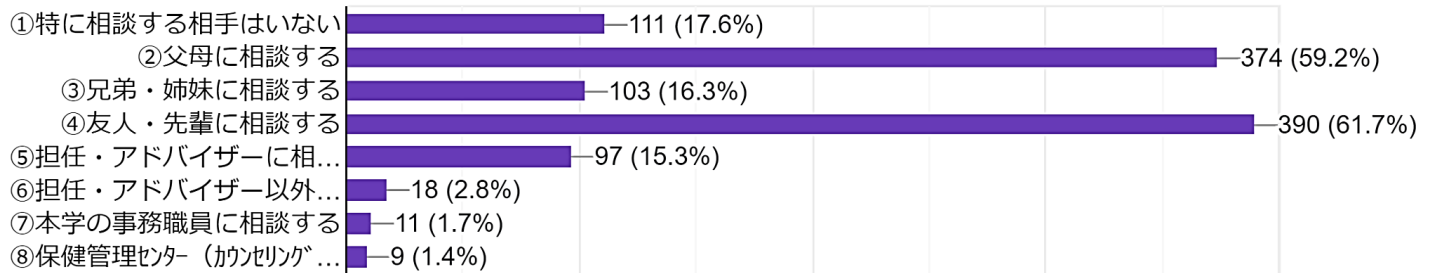
- 国家試験
- 学内のWi-Fi環境
- 将来の一人暮らし
- 就職先
- モチベーションがない

〈学生委員のコメント〉

昨年同様に最も多いのは「進路・就職」で31.8パーセントから30.4パーセントに微減している。また、「特に悩みはない」が40.5%から43.8%に微増している。進路就職での悩みが毎年のように多いことが考えられる。

[Q5-2] 悩みが生じた時、どのように対処しますか？（複数回答可）

632 件の回答



※質問補足 ⑤担任・アドバイザーに相談する

⑥担任・アドバイザー以外の教員に相談する

⑧保健管理センター（カウンセリング）に相談する

<回答数 = 1 の回答>

- ②③以外の家族に相談する
- 誰にも相談しない
- 自分でなんとかしようとする
- 最初に自分で解決できるか考える
- 自分自身で振り返る
- 1人で解決したい
- 恋人
- 何となく処理する

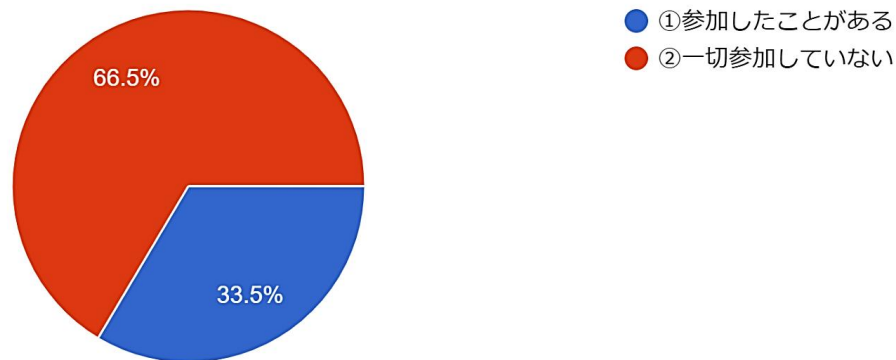
<学生委員のコメント>

悩みが生じた時の相談相手「友人・先輩」が61.3%から61.7%に微増し、昨年と同様最も多かった。「父母」が53.5%から59.2%に増加しているが多かった。「特に相談する相手はいない」18.4%から17.6%と微減であった。「担任・アドバイザー」は、15.1%から15.3%に微増し、教員とのコンタクトは増えてつつあることが考えられる。

[6] 大学・学友会行事の参加について

[Q6-1] この1年間（1年生は入学してから）で大学・学友会主催行事に参加したことがありますか？

632 件の回答



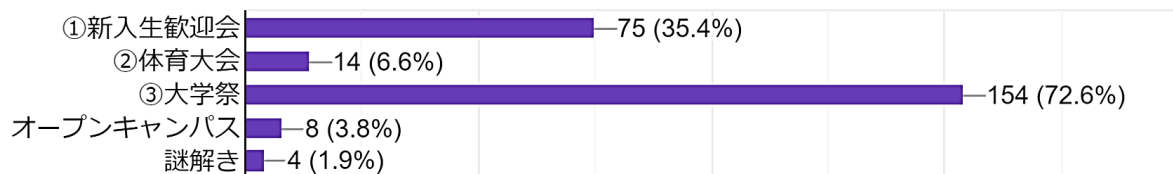
〈学生委員のコメント〉

大学・学友会行事に「参加していない」は、60.7%から66.5%に増加し、参加したことがあるというのが、39.3%から33.5%に減少していることから参加者が減っていることが考えられる。

Q6-1で、大学・学友会主催行事に「①参加したことがある」と回答した方への質問です。

[Q6-2] この1年間(1年生は入学してから)で参加した大学・学友会主催行事は何ですか？(複数回答可)

212 件の回答



<回答数 = 1 の回答>

- オープンキャンパスのスタッフ
- ハロウィンイベント
- 学会
- セミナー
- リアル脱出ゲーム
- すべて
- ボランティア
- 学友会、大学祭実行委員会に所属している
- お菓子Deリフレッシュ

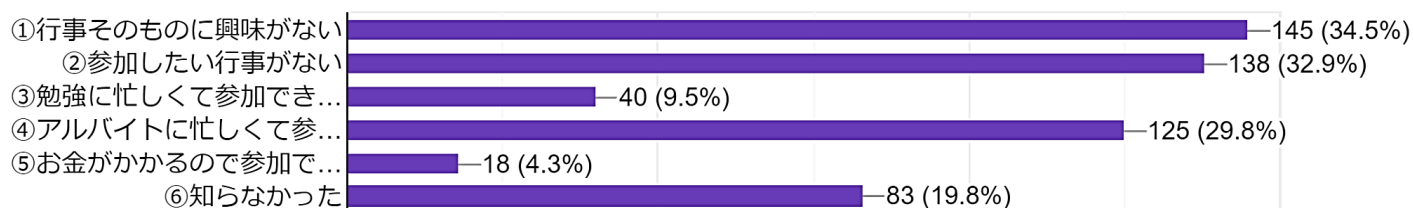
〈学生委員のコメント〉

これまで参加した行事で、「大学祭」が94.7%から72.6%に減少したが、例年通り多く参加していることが考えられる。

Q6-1で、大学・学友会主催行事に「②一切参加していない」と回答した方への質問です。

[Q6-3] これらに参加しない理由は何ですか？（複数回答可）

420 件の回答



※質問補足 ③勉強に忙しくて参加できない

④アルバイトに忙しくて参加できない

⑤お金がかかるので参加できない

<回答数 = 1 の回答>

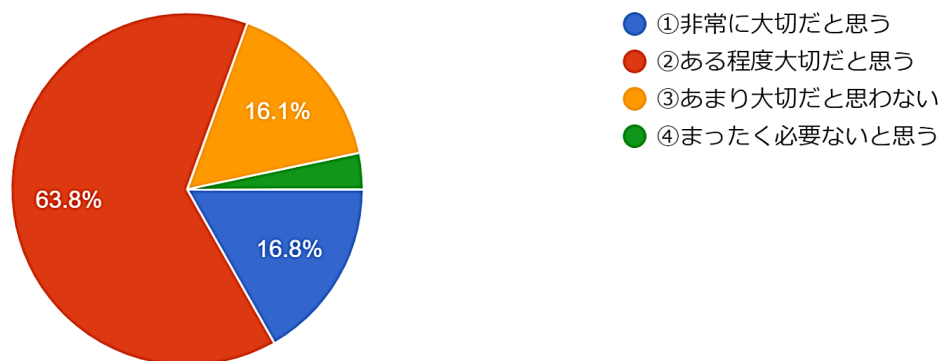
- 大学が遠い
- 家から大学が遠いため、授業がないときにまで大学に来ようとは思わない
- 行こうって言う友達がいらない
- 興味はあったが、行かなかった
- 部活があり、参加できていない
- 最初は勉強に慣れることに集中していて、気持ちに余裕がなかったため
- その時間で自習や練習をしたい
- 特に理由はないです
- 野球がある
- 部活動が忙しくて参加出来ない
- 優先順位が低い
- 参加したいが、自宅が大学から遠いため行っていない
- 特に開催されていなかったため
- 家から遠いため、参加したかったがしなかったです

<学生委員のコメント>

行事そのものに興味がないというのが最も多く、行事のイベントを再考する必要があると考えられる。

【Q6-4】 大学・学友会主催行事の参加は学生生活の充実に大切だと思いますか？

632 件の回答

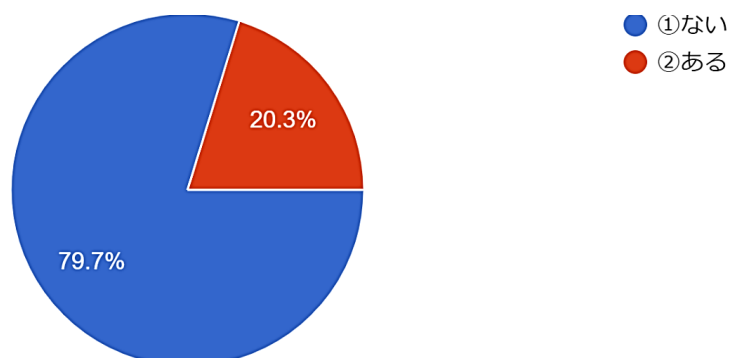


〈学生委員のコメント〉

全体の79.9%の学生が学生生活の充実に「大切」として認識しているが昨年の72.5%の数値より高いが、学生生活を充実にさせるような気持ちにさせないといけないと考えられる。

【Q6-5】 この1年間(1年生は入学してから)で参加したボランティア活動(大学・学友会主催以外)はありますか？

632 件の回答



〈学生委員のコメント〉

ボランティア活動参加者は、19.3%から20.3%に増加していることが考えられる。

Q6-5で、この1年間で参加したボランティア活動が「②ある」と回答した方への質問です。

【Q6-6】 この1年間(1年生は入学してから)で参加したボランティア活動(大学・学友会主催以外)の内容は何ですか？

128 件の回答

- オープンキャンパス
- 食育ボランティア
- 食の学校祭
- 酪農体験
- ゴミ拾い
- 花植え
- 学会
- 食育教室
- さとらんど
- 食の学園祭
- 小児障害児のクリスマス会
- 地域の認知症ボランティア
- 祭りのイベント運営
- 地域のゴミ拾い
- 祭りの運営
- エスコンフィールド等のイベント
- 海のゴミ拾い
- モエレ沼芸術花火大会ボランティア
- 地域創生モーターショー
- 札幌マラソン
- ハロウィンイベント
- 恵庭市民会館の映画上映会のお手伝い
- 久原秋の大試食会
- 高齢者測定会
- 千歳市防災イベント
- 豊栄神社祭り
- 来場者案内
- 売り場スタッフ
- デイサービス
- 9月に札幌で行われたチャイナフェスティバルに個人で応募した、現場監督の助手
- 札幌さとらんどで開催された「食の学校祭」。健康ブースにて、SATシステムや唾液アミラーゼを測る機械、ヘモグロビンを測る機会の説明及び係員を行いました。
- チャレンジド教室
- 学びの森
- その他外部のボランティア
- イベントスタッフ
- 音楽フェスの運営
- 地元で行われたゴミ拾いや高齢者や障害者施設に行き室内清掃の手伝い等
- 花を植える
- 幼稚園夏祭りボランティア
- 札幌にある養護学校の運動会のボランティア活で道具の準備、片付け、玉入れの玉を数える等。
- 大学入学説明会のお手伝い
- 放課後等デイサービスで特別支援学校のお子さんの見守り
- 恵庭の神社のお手伝い
- 中学校夏季・冬期講習ボランティア
- 千歳市防災訓練ボランティア
- 恵庭市の神社のお祭りのボランティア
- こども通園支援センターのお祭りお手伝い
- smileハウスボランティア
- 久原総本家イベントスタッフ
- 献血
- 三・四祭り
- 子供療育センターの見学など
- たまごくらぶ

として他のボランティアと一緒に2日間働いた

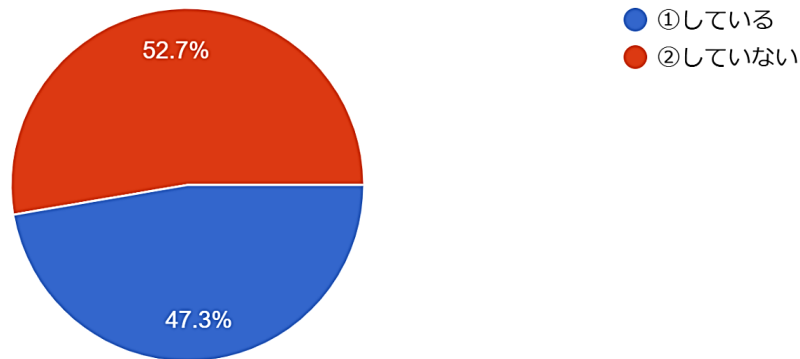
- 夕張の高校生と一緒に地域おこしをする
- 恵庭市内でのイベントにダンスサークルとして披露する機会があった
- 小学生の放課後学習支援
- えにふえず
- 交通整備
- 子ども食堂
- 北海道マラソンボランティア
- 黄金ふれあいセンターに行って、子どもたちと遊んだりすること。
- 恵庭市のボランティア参加
- さとらんどでの食育や健康のチェックのブース
- 食の祭りで販売のスタッフをした
- 食の学校祭（健康ブース）
- 夕張活性化についてのボランティア
- 鹿追酪農体験のボランティア
- 久原本家北海道感謝祭ボランティア
- 試食会イベントのスタッフ
- 酪農実習
- 恵庭シーニックナイト
- 花植え
- 子ども食堂
- スマホ教室
- 食の学校祭のスタッフ
- ハロウィン
- 恵庭市お菓子作り
- さとらんど食の学校祭
- 恵庭市市内周遊プランの作成
- 久原本家(株)の試食会
- 公園のゴミ拾い
- たまごクラブ

- こども発達学科の課外活動で学童や幼稚園へのボランティア
- 小学生への読み聞かせ
- こども園の夏祭り
- 児童館の夏祭り
- 学生スタッフ
- 恵庭市お祭りボランティア
- 海のクリーンアップ大作戦
- 食の学校祭縁日ブーススタッフ
- 森の学校祭
- 恵庭の道の駅でのアンケート調査
- 食育を行う
- 小学生の調理実習サポート
- 恵庭桜町のお祭りで出店のお手伝い
- 野外フェスの運営
- 子供縁日
- ボランティア
- アイヌ文化
- 小学生キャンプスタッフ
- 高齢者の健康測定会
- 学会の手伝い
- お花植え
- 高齢者身体機能測定会
- 北海道理学療法士学術大会
- 理学療法学会
- オリンピック
- フェスの運営
- 学術大会
- 空港ボランティア
- 親が説明を受けてる間に、子供と一緒に遊んで待っているボランティア「恵庭ままっぷ」
- 栄養士会の会場設営

[7] サークル活動について

[Q7-1] サークル・部に所属していますか？

632 件の回答



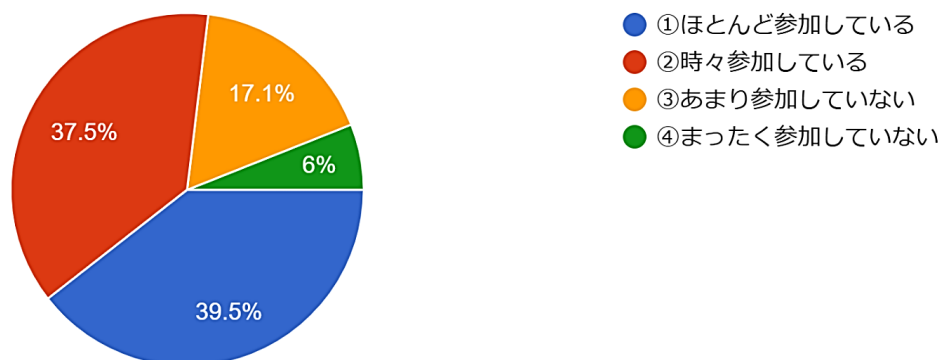
〈学生委員のコメント〉

サークル・部に所属している学生は47.3%、サークル・部に所属していない学生が52.7%と、所属していない学生のほうが多い状況である。昨年と比べサークル・部に所属する学生は8.8%増え、サークル・部に所属している学生が増えている。

Q7-1で、サークル・部に所属「①している」と回答した方への質問です。

[Q7-2] サークル・部活動にどの程度参加していますか？

299 件の回答



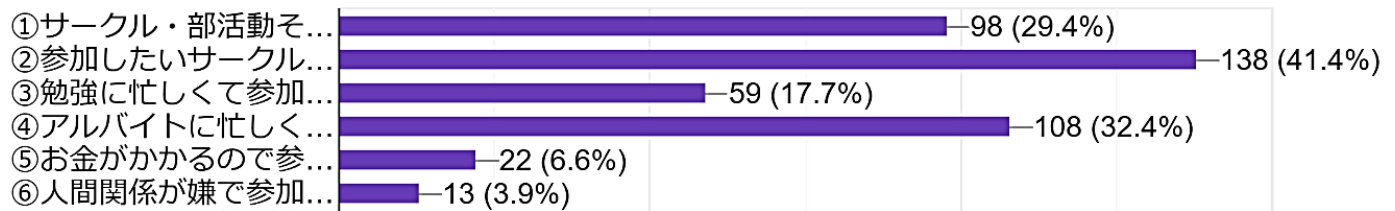
〈学生委員のコメント〉

ほとんど参加している、時々参加している学生を合わせると77.0%と大半の学生が参加しているという回答であった。一方、23.1%の学生はあまり参加していないか、まったく参加していないという状況ではあるが、昨年と比べるとサークル・部活動に参加している学生は4.9%増えていると考えられる。

Q7-1で、サークル・部に所属「②していない」と回答した方への質問です。

[Q7-3] 活動しない理由は何ですか？（複数回答可）

333 件の回答



※質問補足 ①サークル・部活動そのものに興味がない

②参加したいサークル・部活動がない

③勉強に忙しくて参加できない

④アルバイトに忙しくて参加できない

⑤お金がかかるので参加できない

⑥人間関係が嫌で参加できない

<回答数 = 1 の回答>

- 自宅から学校が遠い
- 4年生になったので引退した
- 大学が遠い
- 途中までやっていた
- 入るタイミングが分からなかった
- 授業時間や帰宅時間、アルバイトの時間を考えると参加できなかった
- 引退した
- 家から大学が遠い
- 参加しようとしていたがそこまで活動が活発ではなく個人の自由みたいな感じだったため、たくさん運動したい自分にとっては向いていないから
- 距離と時間的にできない
- 廃部になった
- 興味があるサークルがなかった
- 帰宅時間が遅くなるため参加が難しい
- 大学での環境や勉強になれるために入っていなかった。今後は所属しようと考えている。
- 参加していたが途中でやめた
- 時間が欲しい
- 機会を逃した
- 遠距離通学で登下校だけで時間がかかるため、夜遅くまで大学に残れない
- 帰宅時間との関係
- 友達がいらないから参加しにくい
- 特に理由はない
- 自分が入りたいようなサークルがない
- 時間が合わない

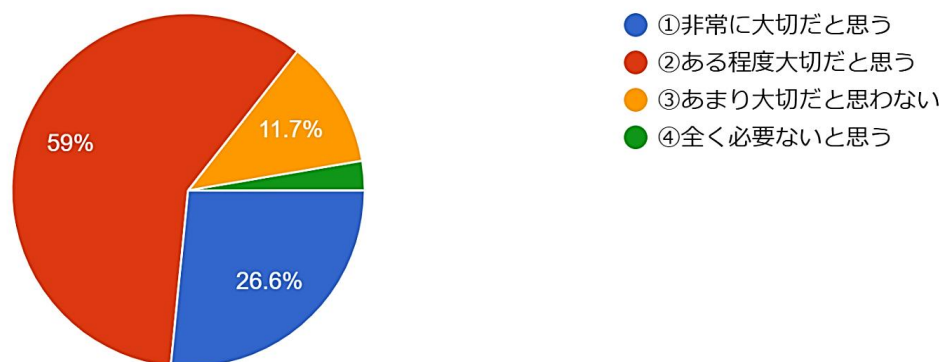
- 電車の時間の都合
- 課外活動が忙しい
- ミニバスのコーチのボランティアをしていて時間がない
- 忙しい
- 編入したため中途半端だと思ったので
- 通学に1.5時間かかるため遅くまで活動すると次の日の授業に支障が出る為
- 疲労
- 自宅が遠いため、サークルをしながら通うことが時間的に厳しい
- 入っていたが無くなった
- サークル時間の終わる時間が遅く、家が遠いので勉強する時間が設けられなくなってしまうからです。
- 辞めてしまった
- 入りたいサークルがコロナ禍で動いていなかった
- 参加していたサークルが無くなった為やめた
- していたが途中で廃部になった
- 所属しても楽しくなかったから

〈学生委員のコメント〉

アルバイトが忙しくて参加できないが最も多く、参加したいサークルがないがその次に多い。通学に時間がかかるというコメントが多い印象であった。

[Q7-4] 所属の有無に関わらず、一般にサークル・部活動は学生生活の充実に大切だと思いますか？

632 件の回答



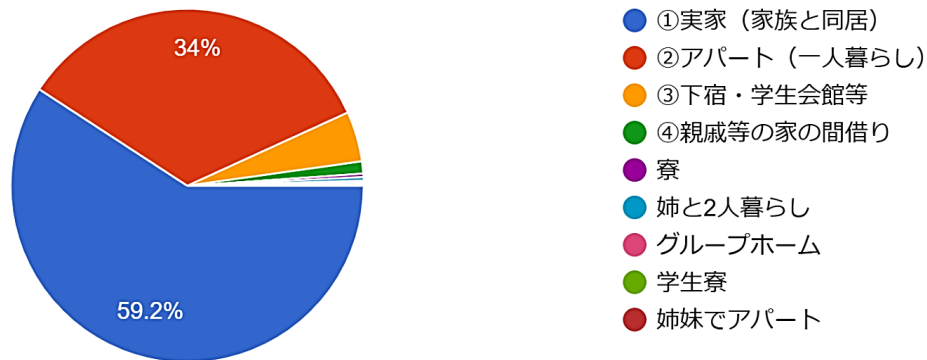
〈学生委員のコメント〉

非常に大切である、ある程度大切であると回答した学生は、85.6%と、サークル部活動は学生生活の充実に大切であると考えている学生が多いことが考えられる。

[8] 居住状況について

[Q8-1] 現在住んでいる住居の形態は次のうちどれですか？

632 件の回答

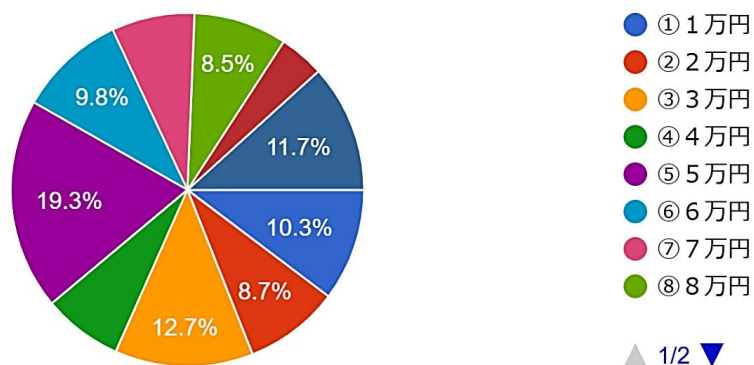


〈学生委員のコメント〉

昨年度と比較すると実家または家族との同居学生は3.5ポイント減少し、一人暮らしは2.4ポイント増加している。しかし、2年前と比べると恵庭に通える地域の学生が増加傾向で、一人暮らしの学生が減少傾向である。

[Q8-2] 1ヶ月に必要な生活費(自宅以外の場合は部屋代・光熱費含む)に最も近い金額は次のうちどれですか？

632 件の回答



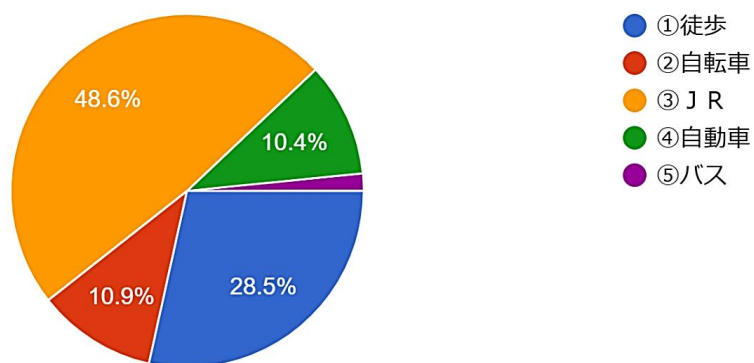
▲ 1/2 ▼

〈学生委員のコメント〉

自宅通学生と思われる「月1～3万円」の割合は前年度より減少していた。「月4～6万円」の割合が増加傾向にあったが、「7～8万円」の割合がわずかに低下していた。自宅通学の学生は、物価高騰の影響を受けて生活費が増加している。一人暮らしと思われる学生は節約していることが推測される。

[Q8-3] 主な通学方法は次のうちどれですか？

632 件の回答



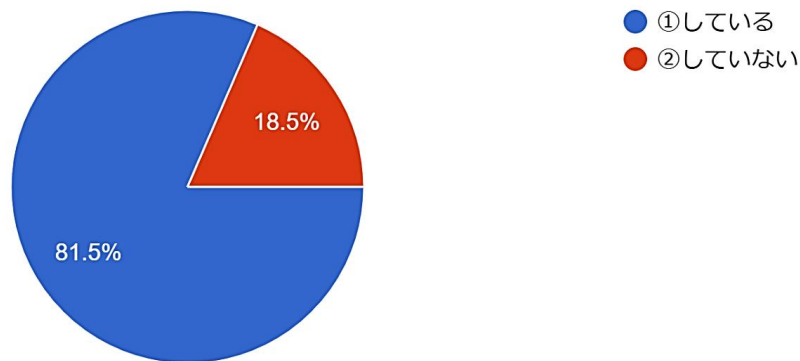
〈学生委員のコメント〉

自動車（9.8→10.4）、自転車（9.3→10.9）の割合が微増、JRが微減（51.2→48.6）であるが、全体の割合として過去3年と大きな変動ない。

[9] アルバイトについて

[Q9-1] 現在、アルバイトをしていますか？

632 件の回答



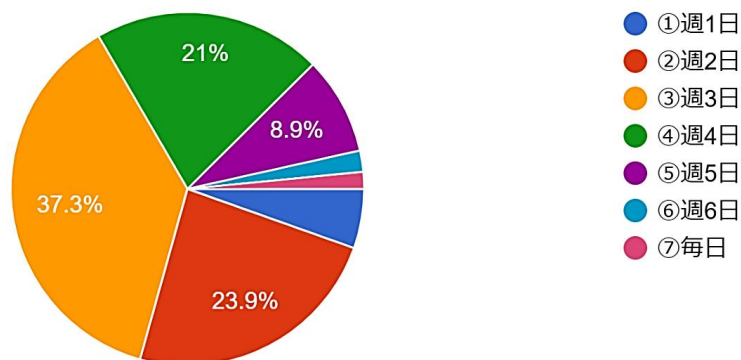
〈学生委員のコメント〉

アルバイトに従事する学生比率は引き続き上昇している。R4年度対比では5.8ポイントの増加がみられた。

Q9-1で、アルバイトを「①している」と回答した方への質問です。

[Q9-2] 1週間あたり何日アルバイトをしていますか？

515 件の回答

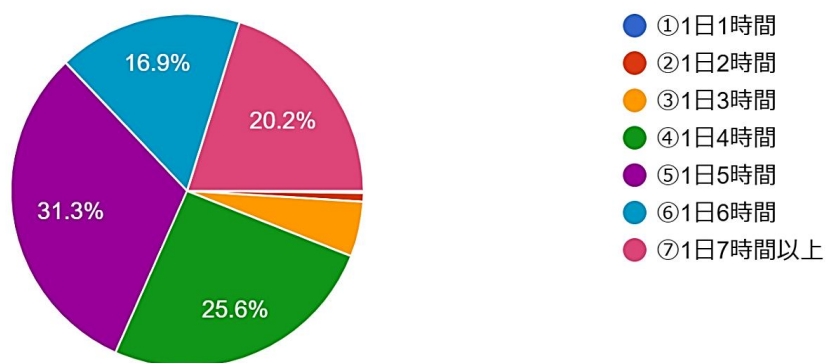


〈学生委員のコメント〉

週に3日就労する者が増加傾向にある。週に4日以上就労する者は微減傾向にあるものの、学生の4人に3人近くが週に3日以上アルバイトに従事している状況に変わりはない。

【Q9-3】 現在、1日あたり何時間くらいアルバイトをしていますか？

515 件の回答



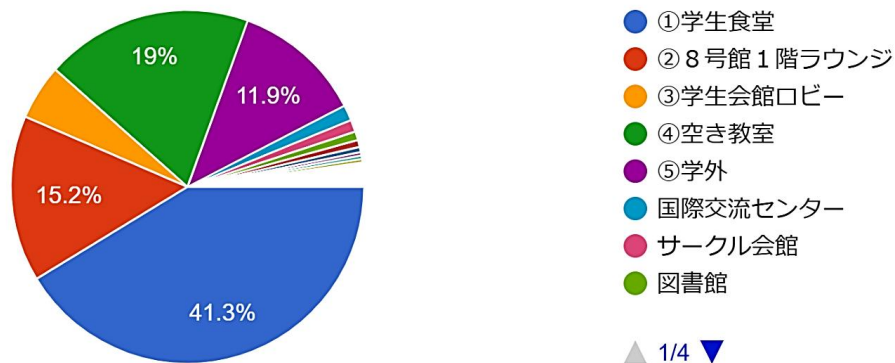
〈学生委員のコメント〉

1日当たり6時間以上従事する者が37.1%に達した結果、3人に2人の学生が5時間以上のアルバイトに従事している。学習時間の確保に影響が出ている可能性がある。

[10] 昼食について

[Q10-1] 一週間を通して一番利用しているところはどこですか？

632 件の回答



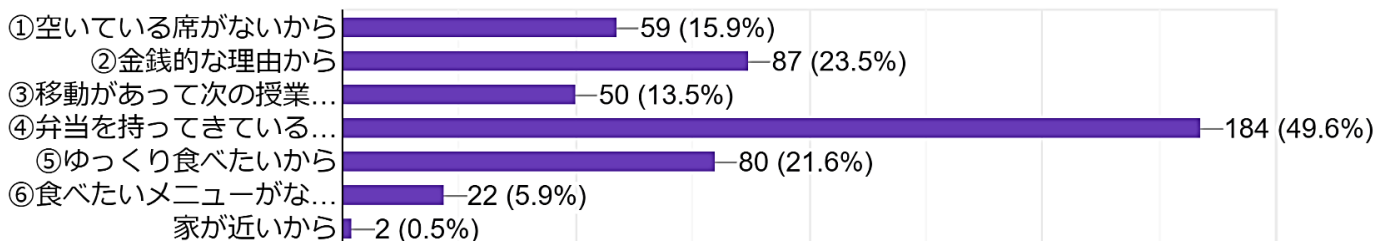
〈学生委員のコメント〉

「①学生食堂」の利用割合は41.3%（昨年度39.3%）と最も多く、昨年度に引き続き増加傾向にあった。次いで「④空き教室」19.0%（昨年度20.6%）、「②8号館1階ラウンジ」15.2%（昨年度15.6%）、「⑤学外」11.9%（昨年度11.2%）であり、昨年度とほぼ同じ水準を保っていた。学生食堂の利用者が年々増加していることは、食堂のサービスや施設が学生にとって利用しやすい環境であることを示唆している。ただし、空き教室やラウンジなどを利用する学生も多いため、食堂以外の利用スペースについても利便性向上や快適化が引き続き求められる。

Q10-1で、学生食堂以外を頻繁に利用していると回答した方への質問です。

[Q10-2] 学食を利用しない理由は何ですか？（複数回答可）

371 件の回答



※質問補足 ③移動があつて次の授業に間に合わないから

④弁当を持ってくるから

⑥食べたいメニューがないから

<回答数 = 1 の回答>

- 一緒に食べる友達がいない
- 人混みが苦手だから
- 恵庭周辺の飲食店に行ってみたいから

- メニューの値段が高いから
- たまには利用している
- 人が多いから
- 列に並ぶのが嫌
- 移動するのが面倒くさいから
- 主に使っている教室から遠いから
- たまに食べるのが美味しいと思うから
- 友達がいない
- 授業が主に8号館で行われるため移動が面倒
- 学食が遠いから
- ご飯を食べないことが多い
- 家に帰って食べているため
- 遠い
- 味付けが濃い料理が多いから
- 食堂に行く距離よりコンビニに行く距離のほうが近く感じるから
- 仲良くしている友達が多く集まっていて一緒に食べれるから
- 授業の教室と遠いから
- 食事の時は学生食堂を利用しています。自習など静かに過ごしたい時にほかの場所を利用しています
- たまに利用する
- 落ち着かないか
- 自宅に帰るため

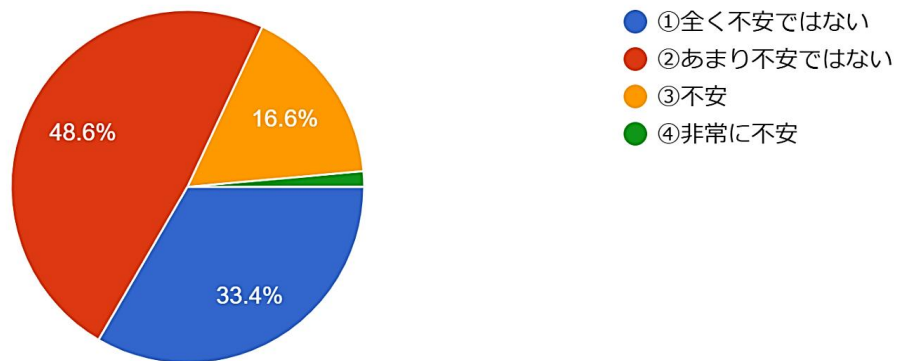
〈学生委員のコメント〉

学生食堂を頻繁に利用しない理由としては、「④弁当を持ってきているから」が49.6%（昨年度51.3%）であり、ほぼ半数を占めていた。次いで「②金銭的な理由から」が23.5%（昨年度24.4%）、「⑤ゆっくり食べたいから」が21.6%（昨年度21.0%）、「①空いている席がないから」が15.9%（昨年度17.4%）となり、昨年度とほぼ同じ水準を保っていた。一方で、「③移動があって次の授業に間に合わないから」は13.5%（昨年度21.7%）に減少し、昨年度に比べて大きく減少したことが示された。学生食堂を頻繁に利用しない理由として「弁当を持参するから」が引き続き多いものの、自由回答からは金銭的理由や静かな環境を求める声もあり、学生が学業と生活のバランスを取る中で経済的に効率的な選択をしていることが示唆された。

[11] 新型コロナウイルスの影響について

[Q11-1] 新型コロナウイルスに感染するおそれについて、どの程度不安ですか？

632 件の回答

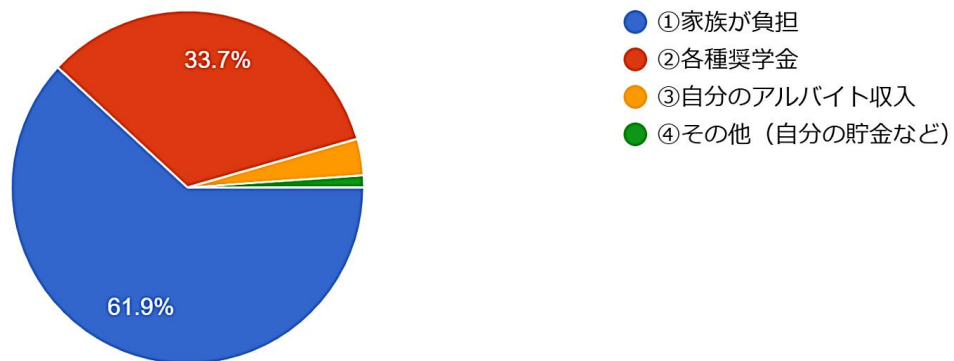


〈学生委員のコメント〉

「①全く不安ではない②あまり不安ではない」82%であり、昨年度（75.9%）と比べてはっきりとした増加幅が見られ、8割以上を占めている。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、学生への影響がますます弱くなっているように見える。

[Q11-2] あなたの学費を主としてどのようにまかっていますか？

632 件の回答

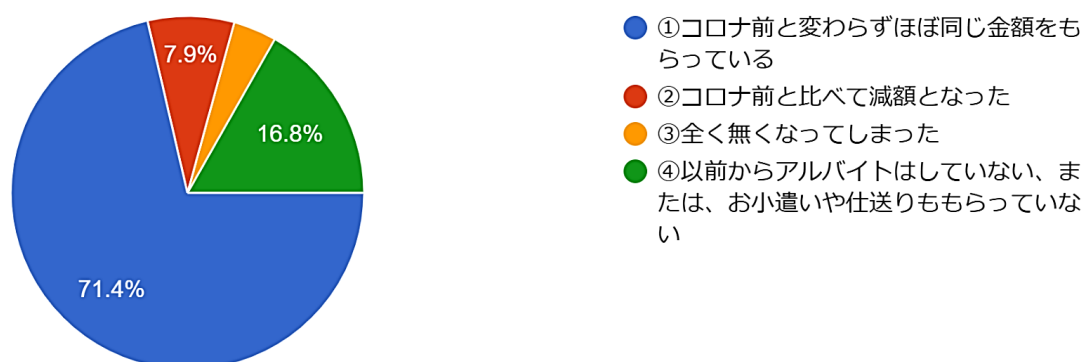


〈学生委員のコメント〉

本年度の回答は昨年度とほぼ一致している。

[Q11-3] コロナウイルスの影響で、アルバイト収入や仕送りに変化はありましたか？

632 件の回答

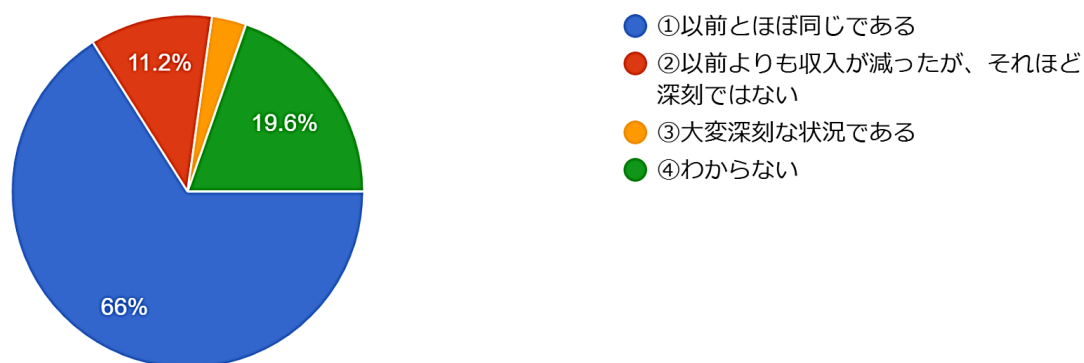


〈学生委員のコメント〉

本年度の回答は「ほぼ同じである」が微増していることに対し、「以前より減った」が減っている傾向がみられ、新型コロナウイルスが学生本人及び家庭の経済状況に与える影響が弱まっているように見える。

[Q11-4] ご家庭の経済状況に変化はありましたか？

632 件の回答

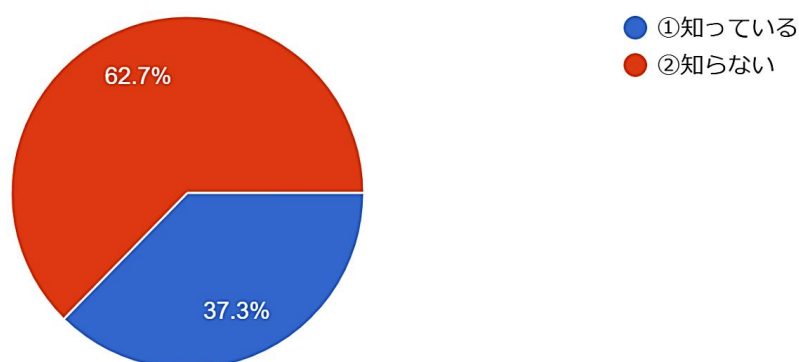


〈学生委員のコメント〉

本年度の回答は「ほぼ同じである」が微増していることに対し、「以前より減った」が減っている傾向がみられ、新型コロナウイルスが学生本人及び家庭の経済状況に与える影響が弱まっているように見える。

【Q11-5】 国による大学生のための経済支援策である「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』のことを知っていますか？

632 件の回答



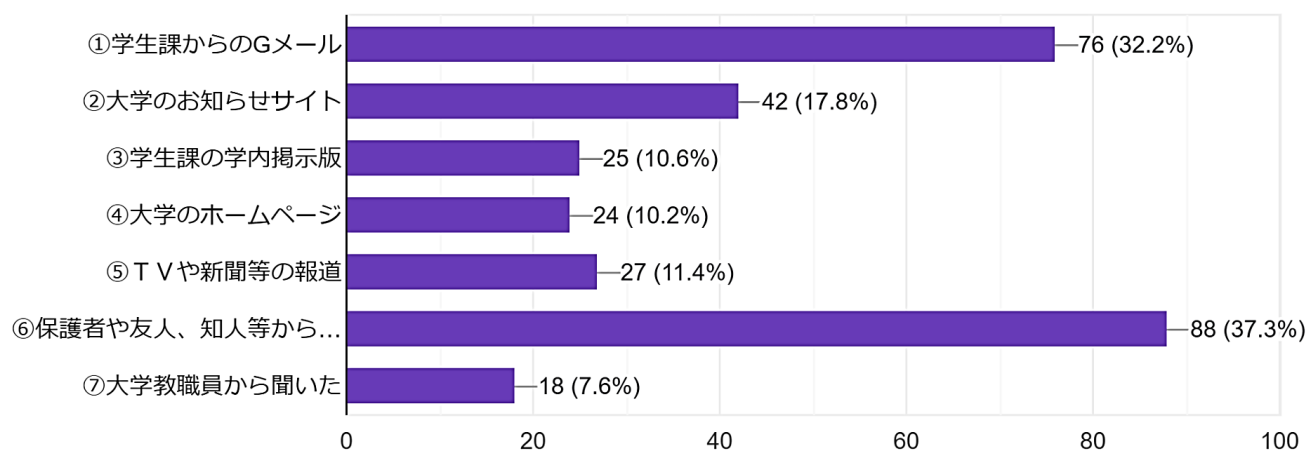
〈学生委員のコメント〉

「知らなかった」と回答する学生の割合（62.7%）は昨年度（66.2%）よりやや減っていたが、政策への認知度が依然として低いという点に留意する必要がある。

Q11-4で、『学生支援緊急給付金』のことを「①知っている」と回答した方への質問です。

【Q11-6】 その情報はどこで知りましたか？（複数回答可）

236 件の回答



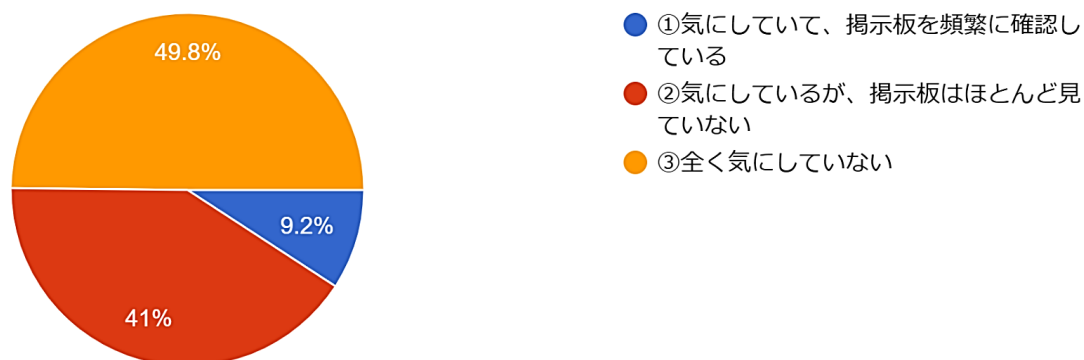
※質問補足 ⑥保護者や友人、知人等から聞いた

〈学生委員のコメント〉

本年度の回答は昨年度とほぼ一致。

【Q11-7】 学生課の掲示板には、各種奨学金の募集や奨学生向けの連絡等を掲示しています。あなたは普段から、奨学金等の情報を気にしていますか。

632 件の回答



〈学生委員のコメント〉

「全く気にしていない」と回答する学生の割合も昨年度とほぼ一致している。この回答結果からみられるように、経済支援策や奨学金などの情報への関心が薄く、大事な情報に関する認識が漏れている学生が多い。大学は詳しく分析し、そうした学生への対応を検討し続けるべきである。